

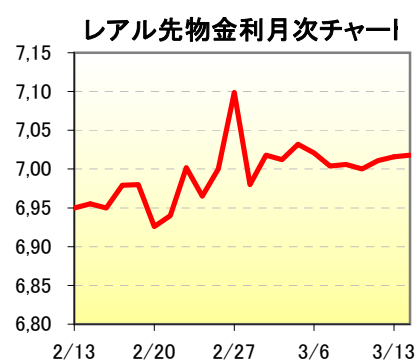
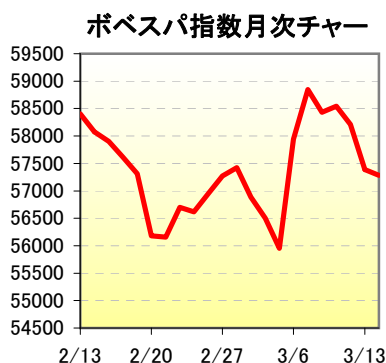
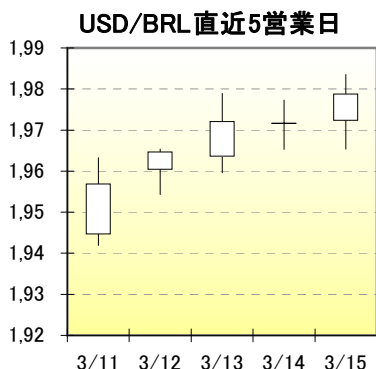
## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	1,9580	1,9650	1,9700	1,9740	1,9810	+0,0070
	USD/YEN	Spot	96,47	95,99	96,13	96,11	95,28	-0,8300
	EUR/USD	Spot	1,3043	1,3029	1,2960	1,3001	1,3076	+0,0075
	BRL/YEN	Spot	49,29	48,85	48,75	48,74	48,05	-0,6900
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,37	1,34	1,42	1,39	1,44	+0,0470
		1Year(p.a.)	1,48	1,49	1,56	1,53	1,52	-0,0120
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,53	7,60	7,63	7,52	7,50	-0,0213
		1Year(p.a.)	7,94	8,01	8,06	8,01	7,97	-0,0413
Stock	Bovespa		58.545	58.209	57.386	57.281	56.869	-411,74
Bond	CDS Brazil 5y		121,06	122,50	122,50	128,75	129,55	+0,8010
	Global 40		124,000	123,875	124,000	123,625	123,500	-0,1250

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FGVインフレ率-IGP-10(前月比,3月)	0.28%	0.22%	0.29%	
経済活動指数(前月比/季調済,1月)	0.80%	1.29%	-0.45%	
経済活動指数(前年比/季調前,1月)	4.50%	3.84%	-0.40%	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は US\$1=R\$1.9450 で寄り付いた。
- 週初のレアルは寄り付き後に買いがやや優勢となり、週間高値となる US\$1=R\$1.9420 を付けた。しかし直後に伯中銀によるドル買い介入が通知されると、レアルは一気に 1.9550 まで反落した。
- 翌 12 日はスペイン国債入札で借入れコストが低下したことが好感され、ユーロが朝方から急上昇。レアルはユーロにつられて買いが優勢となるも、伯中銀によるドル買い介入警戒感から 1.96 台前半まで反落した。
- 週央にかけては COPOM 議事録の発表を控えて市場では様子見ムードが広がり、レアルは 1.96 台前半で小幅な値動きとなったが、ブラジルの格付けが引き下げられるとの噂が流れると 1.97 台後半まで一時的に急反落した。
- 翌 14 日にはブラジル時間朝方に COPOM 議事録が発表され、次回の COPOM での利上げの可能性が低いことが示唆されたが、足許では中銀がインフレ率の上昇を強く懸念していることが示され、レアル短期先物金利は低下した。そのほか米新規失業保険申請件数が予想に反して減少したことが好感されるとリスク資産の買いが優勢となり、レアルもつれて買い進まれた。
- 週末にかけてレアルは買いが優勢となるも、直後から資金流出の噂が流れると反落し、週間安値となる US\$1=R\$1.9840 まで続落し、結局同水準で越えた。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
3/18	FGV CPI IPC-S	mar/17	0.58%	0.52%
3/18	貿易収支(FOB)-週次	mar/17	--	\$175M
3/19	FIPE消費者物価指数(週次)	42064	-0.01%	0.06%
3/19	FGVインフレ率-IGP-M(プレビュー)	40238	0.26%	0.15%
3/22	IBGE CPI IPCA-15(拡大/前月比)	Mar	0.46%	0.68%
3/22	経常収支(月次)	Feb	-\$6000M	-\$11371M
3/22	対内直接投資	Feb	\$3561M	\$3703M

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：1.93-2.00

今週は国内外で多くのイベントや経済指標が発表された。中でも伯金融政策委員会（COPOM）議事録の発表が注目され、伯中銀はインフレ率の上昇に対する懸念を高める一方で、いつ利上げサイクルを開始するかは未だに明確になっていない。一方で今週は多くの資金流出の噂が聞かれ、リアルはじりじりと下落し、1.98 台を割り込んだ。来週にかけて海外では米FOMCの開催が予定されており、米金融当局による量的緩和に対する姿勢が注目される。量的緩和が継続される内容となった場合にはリスク資産に買いが入り、リアルも買われることが予想される。しかし、週初に見られたように伯中銀がアンオフィシャルに認めるレンジの上限である1.95 台を上抜ける傾向が続いた場合にはドル買い介入が行われることが予想され、リアル高は1.94 近辺を上限に上値の限定的な展開が予想されるであろう。